

# 2018年 江戸川大学 後期公開講座 (9~3月)



## 江戸川大学駒木学習センター

〒270-0198 千葉県流山市駒木474

TEL.04-7156-7715 / FAX.04-7153-5904

URL <http://www1.edogawa-u.ac.jp/stcenter/>

E-mail [stcenter@edogawa-u.ac.jp](mailto:stcenter@edogawa-u.ac.jp)

# 江戸川大学オープンカレッジ

## 2018 後期「一般教養講座」のご案内

### 101 講座 明治 150 年・映像で学ぶ歴史遺産

開催日 金曜日 13:30~15:00 回数 全 10 回 受講料 15,000 円 定員 50 名 お申込み締切日 9/28(金)



#### 市川 昌

江戸川大学名誉教授  
日本教育メディア学会  
会員  
日本生涯教育学会会員

平成 30 年 (2018 年) は、明治元年 (1868 年) から 150 年の年に当たり、明治維新という大変革の実像と人間像に関心が高まっています。この近代日本の夜明けは、写真や映像といった、これまでの日本には存在しなかった新しい記録メディアが登場した時期でもあります。

萩の長州藩校であった明倫館学舎に残る維新の志士たちの写真、幕末の絵図に見られる謎。そして西郷隆盛の肖像写真が不明で、本人と識別できないのはなぜか。女医荻野吟子や文学者樋口一葉の映像や資料を分析していくと見えてくるものは何か。こうした謎も、写真や映像といった記録を分析していくことで、日本近代化の知られざる歴史が浮かび上がってくるのです。

この講座では、長州と薩摩、五稜郭、長崎と江戸、イギリス、フランスの留学の影響など、明治維新から近代日本にかけての史跡をたどり、さまざまな視覚情報から真の歴史遺産と人間像について考えます。

- 第 1 回 10 月 5 日 ◆萩と松下村塾と高杉晋作
- 第 2 回 10 月 12 日 ◆長崎グラバー邸と海援隊と坂本龍馬
- 第 3 回 10 月 19 日 ◆薩摩藩邸と西郷隆盛と大久保利通
- 第 4 回 11 月 9 日 ◆函館・五稜郭と榎本武揚と土方歳三
- 第 5 回 11 月 30 日 ◆熊谷・日本最初の女医荻野吟子
- 第 6 回 12 月 7 日 ◆浅草・竜泉寺と樋口一葉の文学
- 第 7 回 12 月 14 日 ◆旅順・203 高地の戦いと乃木希典
- 第 8 回 1 月 11 日 ◆イギリス留学と長州藩士と夏目漱石
- 第 9 回 1 月 18 日 ◆フランス留学と黒田清輝と藤田嗣治
- 第 10 回 1 月 25 日 ◆大根の伝承から遠野物語へ柳田国男

#### 講師プロフィール

東京教育大学卒業後、NHK 教育局学校放送部に入局。教育番組などを制作し、東南アジアおよび中南米諸国で番組演出指導の経験を経た後、平成元年に江戸川大学教授となる。マス・コミュニケーション学科長、社会学部長を務め、現在江戸川大学名誉教授として、東西文化交流などをテーマにマルチメディアを活用した講座を各地で実施している。

お申込み・お問い合わせ

江戸川大学駒木学習センター

TEL

04-7156-7715

E-mail

stcenter@edogawa-u.ac.jp

URL

<http://www1.edogawa-u.ac.jp/stcenter/>

## 102 講座 道と旅の思想 ～日本人の伝統的倫理観～

開催日 木曜日 13:30～15:00 回数 全8回 受講料 12,000円 定員 20名 お申込み締切日 10/4(木)



宇野 正人

江戸川大学名誉教授

キリスト教、イスラム教の世界に比べて、日本人の持つ思想・信仰の観念は異質なものとと言えます。この観念は、哲学や道徳、倫理など、「日本人」を形作る多くの要素に通底するものとして影響を与えてきました。

日本人には「道」と「旅」を古来から重視してきた歴史があります。古道が大切に残されているだけでなく、「人の道に反することはしない」など、人生の行く先としても一般的に言われることですが、その道を「旅」することもまた、古来からの伝統として日本人の歴史を形作るものとなっています。

今回は、道と旅、民間信仰と神社信仰という視点から、日本人独特の倫理観について考えます。

- 第1回 10月 11日 ◆ はじめに
- 第2回 10月 18日 ◆ 道（みち）から道（どう）へ ～明治以降の価値観変化
- 第3回 10月 25日 ◆ 旅 ～西洋と日本における「旅」の違い
- 第4回 11月 8日 ◆ 道と旅 ～信仰の発露として
- 第5回 11月 15日 ◆ 民間信仰 ～日本人の伝統的信仰
- 第6回 11月 29日 ◆ 神社信仰 ～日本人の伝統的信仰
- 第7回 12月 13日 ◆ 信仰と道 ～日本人の宗教観・倫理観
- 第8回 12月 20日 ◆ まとめ

## 103 講座 再エネ賦課金から見た電力供給の今後は？

～電力システム自由化の下での安定供給方策を考える～

開催日 火曜日 14:00～15:30 回数 全4回 受講料 6,000円 定員 20名 お申込み締切日 10/23(火)



帆足 興次

江戸川大学名誉教授

NPO 法人社会システム

研究フォーラム理事

福島原発事故以降に急速な導入が進んだ再生可能エネルギー。しかし、当初の期待と裏腹に、太陽光発電施設が自然環境や景観に大きな負荷を与える事例も報告されています。それでも、2030年度を目標とする第5次エネルギー基本計画では、再エネ22～24%、原発20～22%の割合が示されました。電力自由化を軸にエネルギー供給システムの改革はすでに進行しており、投資目的を含む小売り電力事業者が数百も乱立し、これらを含むいわゆる新電力のシェアが供給量の10%を超えています。こうした現状や月々増大する再エネ賦課金の今後を合わせ考えつつ、今後の国内外での状況変化や政策動向を踏まえて電力の安定供給策を多々の視点から考えます。

- 第1回 10月 30日 ◆ 電力供給を巡る国内外での変化とは？
- 第2回 11月 13日 ◆ 再生可能エネルギーの導入拡大は可能なのか？
- 第3回 11月 27日 ◆ 原子力発電と核燃料サイクルに、どう対応するのか？
- 第4回 12月 11日 ◆ わが国では、今後、どのような施策が望ましいのか？

## 104 講座 激動する東アジアと日本 ～トランプ外交の功と罪～

開催日 水曜日 13:30～15:00 回数 全4回 受講料 6,000円 定員 20名 お申込み締切日 10/3(水)



### 大江 志伸

江戸川大学特任教授  
読売新聞元論説委員

トランプ大統領と金正恩朝鮮労働党委員長の歴史的な米朝首脳会談が実現し、朝鮮半島・東アジア情勢がにわかに流動化しています。前例や常識にこだわらないトランプ氏の破天荒な外交スタイルが大きな要因となっていますが、超大国・米国の衰退と中華帝国復活を目指す中国の台頭といった時代的な変動とも無縁ではありません。

今回の講座では、米朝日韓を軸とする朝鮮半島情勢や、貿易摩擦で火花を散らす米中関係などを展望しながら、日本外交の近未来について考えます。

- 第1回 10月10日 ◆米朝合意の賞味期限は最長2年
- 第2回 10月24日 ◆南北朝鮮統一と日本の「覚悟」
- 第3回 11月14日 ◆米中対決と日本の「選択」
- 第4回 11月28日 ◆アジアの命運と日本の「潜在パワー」

## 105 講座 島崎藤村詩の風土 ～藤村文学の源泉～

開催日 木曜日 10:30～12:00 回数 全4回 受講料 6,000円 定員 20名 お申込み締切日 1/24(木)



### 新井 正彦

江戸川大学教授

『破戒』、『家』などの作品によって、我が国の自然主義文学を確立した島崎藤村。しかし、小説家・島崎藤村は詩人・島崎藤村から始まっています。青年期に「初恋」、「小諸なる古城のほとり」、「椰子の実」などの詩を次々に発表した藤村は、『若菜集』、『一葉舟』、『夏草』、『落梅集』の4つの詩集を出版しました。日本近代詩の祖となった藤村でしたが、信州・小諸で詩から散文に転じ、『破戒』の成功を受けて、『春』、『家』、『夜明け前』といった長編小説を相次いで発表しました。文豪と呼ばれる藤村ですが、藤村の詩を深く鑑賞すると、藤村の小説と密接な関係があることがわかります。

この講座では、藤村文学の原点ともいべき藤村詩に焦点を当て、「風土」をキーワードに藤村詩の源泉を探っていきます。

- 第1回 1月31日 ◆『若菜集』～東北・仙台の風土～
- 第2回 2月7日 ◆『一葉舟』～「木曾谿日記」の風土～
- 第3回 2月21日 ◆『夏草』～木曾福島の風土～
- 第4回 2月28日 ◆『落梅集』～信州・小諸の風土～

# 106 講座 新・国立公園シリーズ 「国立公園の利用」

～これからの利用のあり方を考える～

開催日 水曜日 14:00～15:30 回数 全2回 受講料 3,000円 定員 20名 お申込み締切日 9/19(水)



宮地 信良

江戸川大学国立公園  
研究所客員研究員  
ネイチャーガイド

国立公園は、そのすぐれた風景や自然を国民の健康や休養、教育などのために活用することが求められています。最近の ICT 化の進展や人口の大都市集中といった社会的変化を背景に、国立公園の利用のニーズもかつてとは変わってきています。

この講座では国立公園の利用の問題点と今後のあり方について考えます。

## 第1回 9月26日【講義】◆利用環境の保全と新たな国立公園の役割

マストツアーとエコツアー、施設型利用と非施設型利用、ガイドツアー等、国立公園の利用といっても様々な形があります。利用の現況とその問題点、展望を考えます。また利用にとって非常に重要な利用環境の改善についても事例を通して考えてみましょう。

## 第2回 10月3日【現地ツアー】◆利用環境保全の現場を体験する

日光国立公園での利用環境の改善対策の現場を歩いて考えてみましょう。今回は交通規制が行われている草紅葉の小田代ヶ原やパークアンドバスライドの試行地等を訪れる予定です。※行き先は変更する場合があります。

受講条件 ※現地ツアーを含む内容となっておりますので、軽いハイキングの出来る健康な方が対象です。

※現地ツアーは雨天でも行います。ただし、荒天の場合は、中止いたしますのでご了承ください。

※講義だけのご受講も可能です。(現地ツアーのみの受講はできません) お申込み時にお知らせください。

※現地ツアーは受講料の他に5,000円～6,000円程度の経費(バス代、昼食代、保険料等)と日光までの往復交通費が必要です。

# 107 講座 初級者向け野鳥の楽しみ方

～冬はバードウォッチングに最適な季節 あなたも楽しんでみませんか～

開催日 土曜日 回数 全2回 受講料 3,000円 定員 20名 お申込み締切日 12/14(金)



中島 慶二

江戸川大学教授  
江戸川大学国立公園  
研究所所長  
バードウォッチャー

冬は野鳥観察に最適なシーズンです。木々の葉が落ちて鳥を見つけやすく、また冬の澄んだ空気に響く鳥の声は、より一層美しさが引き立つものです。さらに、野鳥観察は野鳥を含む生態系を学ぶことにもつながります。野鳥のを見つけ方や識別にはある程度の慣れや知識が必要ですが、この講座では、講義とフィールドの2部構成で、初級者向けに楽しく観察するコツを伝授します。

講義では、野鳥観察のために必要な基礎知識や、野鳥を例に生物と環境の関係について学びます。フィールド回は、運河駅に集合し、利根運河沿いの歩道などを巡りながら、シベリアから日本にわたってきた冬鳥を中心に観察し、見つけるコツや鳴き声の聞き分けを実地に伝授します。

## 第1回 12月22日 13:30～15:00【講義】◆野鳥観察・発見と識別のコツ

野鳥という生きものの生活や特徴を学び、双眼鏡の扱い方、環境の中でいかに早く見つけるか、そのコツについて伝授します。

## 第2回 1月12日 9:00～12:00【フィールド回】◆野鳥観察・発見と識別のコツ

利根運河周辺で冬鳥を中心に野鳥を実際に観察します。観察しやすいカモ類から始め、セキレイ類、ホオジロ類、ツグミ類、キジ、カワセミ、ジョウビタキなども見られるかもしれません。昨年は31種の鳥と出会えました。天気が良ければ猛禽類も期待できます。

※講義だけのご受講も可能です。(フィールド回のみ受講はできません) お申込み時にお知らせください。

※天候によって、フィールド回は日程を変更する場合があります。予めご了承ください。

# 108 講座 音楽の旅路 ジャズ ビル・エヴァンス

～心が歌う、ピアノメロディ～

開催日 金曜日 11:00～12:30 回数 全6回 受講料 9,000円 定員 20名 お申込み締切日 9/21(金)



## 荒木 健

江戸川大学非常勤講師

作曲家

ベース奏者

20世紀のアメリカ合衆国で誕生し、やがて世界で親しまれるエンターテインメントとなったジャズ。その歴史の中で燦然と輝く名演奏家と数々の名曲たちの魅力を探ります。

今回は、日本で最もレコードが売れているといわれるピアニスト、ビル・エヴァンスの音楽と人生をたどります。ニューヨークのサイドマンからキャリアを始め、多くの「ジャズの巨人」達と出会いながら、ピアノ演奏とジャズに何を求め、そして何を残したのか。ビルを囲む「時代の共演者達」と共にじっくりと掘り下げていきます。素晴らしいメロディに耳を傾けながら、お気に入りの音楽との新しい過ごし方を見つけましょう。

- 第1回 9月 28日 ◆サイドマン、そして新しいジャズへ  
共演：チェット・ベイカー、ヘレン・メリル他
- 第2回 10月 19日 ◆マイルス・デイビスとの出会い  
共演：マイルス・デイビス、キャノン・ボール・アダレイ他
- 第3回 11月 30日 ◆芸術的ピアノトリオ  
共演：スコット・ラファロ、ポール・モーティアン他
- 第4回 12月 14日 ◆表現を追い求めて ピアノ・ソロ他
- 第5回 1月 18日 ◆ジャズを生き抜く  
共演：トニー・ベネット、マーク・ジョンソン他
- 第6回 2月 1日 ◆ビル・エヴァンスを引き継ぐ  
ブラッド・メルドー、ジョン・マクラフリン他

# 109 講座 紅茶の楽しみ方 ～知って感じる奥深さ～

開催日 木曜日 13:30～15:00 回数 全4回 受講料 8,000円 (各講座で使用する材料費を含みます)  
定員 20名 お申込み締切日 9/27(木)



## 関川 都代

フードアナリスト

ティー愛好家

世界で一番飲まれているお茶と言われる紅茶。私たちにとって身近なお茶ではありますが、紅茶にまつわる知識は奥深く、歴史や産地、等級、美味しい淹れ方にティーカップの選び方、もてなされ方など、知れば知るほど楽しみが広がります。

この講座では、紅茶とともに過ごすゆったりした時間をお楽しみいただけるよう、毎回数種類の紅茶を実際に試飲し、テイスティングの仕方からマナーまでを身につけます。世界のさまざまな紅茶を味わいながら、奥深い紅茶の世界への第一歩を踏み出しましょう。

- 第1回 10月 4日 ◆五感で感じる紅茶の話  
～テイスティングを楽しむ～
- 第2回 11月 1日 ◆意外と古く、意外と新しい紅茶の話  
～紅茶の歴史を知る～
- 第3回 12月 6日 ◆紅茶にまつわる器の話  
～ティーカップで味が変わる～
- 第4回 1月 10日 ◆紅茶にまつわるマナーの話  
～フードアナリストによるマナー講座～

## 110 講座 日常に生かすかな書道(継続)

開催日 火曜日 18:30~20:00 回数 全18回 受講料 30,000円 定員 15名



村竹 恵子  
書家

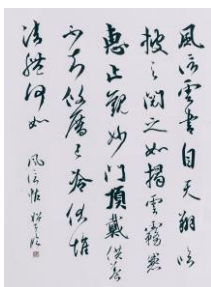
仮名と漢字で書の基本を学び、日常の生活にも生かせるようにしていきます。作品作りにも挑戦して、書の楽しみを広げましょう。書の鑑賞や歴史にも触れていきます。

期間 10月9日(火)~ 3月19日(火)

※本講座は継続クラスですが、若干名の募集を行います。  
お申込み方法は他講座と同様です。

### 開講予定日

第1回：10月9日	第7回：12月4日	第13回：2月12日
第2回：10月16日	第8回：12月11日	第14回：2月19日
第3回：10月23日	第9回：12月18日	第15回：2月26日
第4回：11月6日	第10回：1月8日	第16回：3月5日
第5回：11月13日	第11回：1月15日	第17回：3月12日
第6回：11月20日	第12回：1月22日	第18回：3月19日



受講生作品

## 113 講座 基本の基本から学ぶ書道(継続)

開催日 金曜日 10:30~12:00 回数 全12回 受講料 21,600円 定員 15名

村竹 恵子  
書家

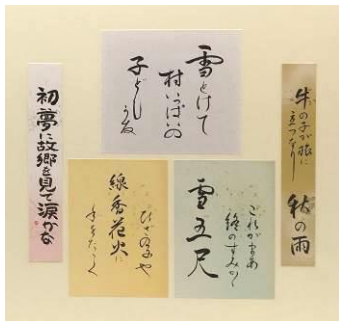
ひらがなの基礎と漢字の基礎を学びます。自分で書けるようになるために、字の構造をしっかりと理解しながら練習していきます。また展覧会で平安の書などが鑑賞できるように、書の古典も学んでいきます。

期間 10月12日(金)~ 3月22日(金)

※本講座は継続クラスですが、若干名の募集を行います。  
お申込み方法は他講座と同様です。

### 開講予定日

第1回：10月12日	第7回：12月7日	第13回：2月8日
第2回：10月26日	第8回：12月21日	第14回：2月22日
第3回：11月9日	第9回：1月11日	第15回：3月8日
第4回：11月16日	第10回：1月25日	第16回：3月22日



受講生作品

## 111 講座 日常に生かす美しい書道(継続)

開催日 火曜日 10:30~12:00 回数 全18回 受講料 30,000円 定員 15名 講師 村竹 恵子

※本講座は開講予定ですが、継続の受講生が対象のため募集は行いません。ご了承ください。

## 112 講座 古典に学ぶ美しい書道(継続)

開催日 水曜日 10:30~12:00 回数 全18回 受講料 30,000円 定員 15名 講師 村竹 恵子

※本講座は開講予定ですが、継続の受講生が対象のため募集は行いません。ご了承ください。

## 114 講座 水彩スケッチを楽しむ (午前の部) (継続)

開催日 土曜日 10:30~12:00 回数 全12回 受講料 18,000円 定員 15名 講師 村竹 清

※本講座は開講予定ですが、継続の受講生が対象のため募集は行いません。ご了承ください。

## 115 講座 水彩スケッチを楽しむ (午後の部) (継続)

開催日 土曜日 13:30~15:00 回数 全12回 受講料 18,000円 定員 15名 講師 村竹 清

※本講座は開講予定ですが、継続の受講生が対象のため募集は行いません。ご了承ください。

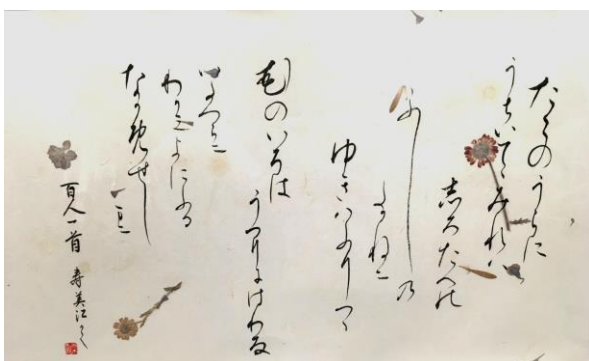
## 書とスケッチ作品展のご案内

「書道講座 (4 クラス)」と「水彩スケッチ講座 (2 クラス)」では、江戸川大学の学園祭「駒木祭」にて毎年作品展を開催しています。今年は書道講座クラスは「源氏物語」、「鳥」をテーマに作品作りに挑むクラスや大筆一文字で勝負するクラスなど、多彩な作品を準備中です。水彩スケッチ講座クラスも風景画をはじめ、個性豊かな作品を展示します。ぜひ学園祭にお越しいただき、作品展をご覧ください。

開催期間： 11月2日(金)~11月3日(土・祝)

開催場所： 江戸川大学駒木キャンパス

水彩スケッチ受講生作品：「直虎の藤棚」



書道受講生作品：  
「百人一首より」



## 201 講座 心理学概論（後期） ～こころは実在しない～

開催日 水曜日 9:00～10:40 回数 全14回 受講料 20,000円 定員 10名 お申込み締切日 9/19(水)



**福田 一彦**  
江戸川大学教授  
医学博士  
江戸川大学睡眠研究所所長  
日本睡眠学会理事  
日本睡眠改善協議会理事  
日本生理心理学会理事

心理学は「こころ」を扱う学問であると言われてますが、「こころ」は実際に見ることも聞くことも触ることもできません。「こころ」とは我々の中枢神経系を中心とした「からだ」で起こっているあるプロセスの言い換えに他なりません。

この授業では、我々の心理的体験、行動がどのような生物学的・生理学的基礎を背景としているのかを学んでいきます。

- |  |   |
|--|---|
| 第1回 9月26日◆ヴァント以前とヴァント以降                    | 第8回 11月28日◆精神分析学2（フロイトの夢分析と睡眠科学、何が科学で何が科学でないのか） |
| 第2回 10月3日◆ヒトの行動の原理を探究する系譜とヒトの個人差を探究する系譜    | 第9回 12月5日◆人格検査法 投影法                             |
| 第3回 10月10日◆認知科学（コンピュータ科学と脳科学）が心理学に与えたもの    | 第10回 12月12日◆人格検査法 投影法                           |
| 第4回 10月17日◆心理学と諸科学との関係、生物学、教育学、分子遺伝学、脳科学など | 第11回 12月19日◆人格検査法 質問紙法                          |
| 第5回 10月24日◆セクシュアリティ、性同一性について               | 第12回 1月9日◆人格検査法 質問紙法                            |
| 第6回 11月14日◆まとめ（小テスト）                       | 第13回 1月16日◆心の病（精神障害について）                        |
| 第7回 11月21日◆精神分析学1（フロイトは心理学者か？精神分析学の基本原理）   | 第14回 1月23日◆まとめ                                  |

## 202 講座 認知心理学（後期） ～認知機能からヒトを探究する～

開催日 金曜日 13:10～14:50 回数 全14回 受講料 20,000円 定員 10名 お申込み締切日 9/21(金)



**西村 律子**  
江戸川大学講師  
江戸川大学睡眠研究所  
研究員  
博士（学術）

これまでの認知心理学で明らかにされてきている、ヒトの認知機能について、具体的には「注意」、「脳と認知の関連」について習得します。それぞれの研究領域における基本的知識から、最新の研究トピックスを学習することで、認知心理学領域の動向を知り、また、デモンストレーションやミニ実験を実施することで、自らの体験をもって認知機能の性質を理解することを目指します。

- |                              |                                 |
|------------------------------|---------------------------------|
| 第1回 9月28日◆注意①：注意とその分類        | 第8回 11月30日◆脳と認知①：脳の構造           |
| 第2回 10月5日◆注意②：焦点的注意          | 第9回 12月7日◆脳と認知②：大脳皮質の機能局在       |
| 第3回 10月12日◆注意③：選択的注意         | 第10回 12月14日◆脳と認知③：ラテラルティ（臨床的知見） |
| 第4回 10月19日◆注意④：分割的注意         | 第11回 12月21日◆脳と認知④：ラテラルティ（研究方法）  |
| 第5回 10月26日◆注意⑤：持続的注意         | 第12回 1月11日◆脳と認知⑤：記憶と脳           |
| 第6回 11月9日◆注意⑥：注意の不具合により生じる現象 | 第13回 1月18日◆脳と認知⑥：言語と脳           |
| 第7回 11月16日◆小テスト（注意のまとめ）      | 第14回 1月25日◆小テスト（脳と認知のまとめ）       |

※お申込みに際してのご注意 201・202 講座ともに「一般公開授業」です。大学で実施している授業を学生と一緒に受講します。その性格上、授業の運営が最優先となりますので、ご理解の上でお申込みください。また、授業内で小テスト等が実施されることがありますが、受ける必要はありません。学期末の定期試験は、受講生は受けることはできません。成績・単位等も付与されません。なお、授業編成の都合上、日程が変更となる場合があります。

## 203 講座 哲学概論

開催日 木曜日 13:10~14:50 回数 全14回 受講料 20,000円 定員 10名 お申込み締切日 9/20(木)



荒谷 大輔

江戸川大学教授

お金はなぜ商品と交換できるのか？

なぜ、基本的人権は守られなければならないのか？

なぜ、人を殺してはいけないのか？

あまりにも「当たり前」で、問い直す必要も感じないようなことがらを改めて考えることで、今生きている社会の構造を意識化していきます。

第1回 9月27日◆哲学とは何か(あらためて考える)

第2回 10月4日◆現代社会の構造：ロックにおける人間の「自然」

第3回 10月11日◆現代社会の構造：ロックの社会契約論

第4回 10月18日◆現代社会の構造：ルソーにおける人間の「自然」

第5回 10月25日◆現代社会の構造：ルソーの社会契約論

第6回 11月8日◆教科書的な理解を超えて、現実に作用している哲学の内実を知る(ロックの思想による現代人の思考の規定)

第7回 11月15日◆教科書的な理解を超えて、現実に作用している哲学の内実を知る(ルソーの思想による現代人の思考の規定)

第8回 11月29日◆教科書的な理解を超えて、現実に作用している哲学の内実を知る(ロックとルソーの対立と現代人の思考)

第9回 12月6日◆社会構造の形成と倫理(「倫理」の相対性と絶対性)

第10回 12月13日◆社会構造の形成と倫理(「倫理」の形成過程)

第11回 12月20日◆人間関係と社会(近代思想における対立の現代的な影響)

第12回 1月10日◆人間関係と社会(社会制度についての考え方の差異)

第13回 1月17日◆人間関係と社会(「経済」についての考え方の差異)

第14回 1月24日◆まとめ

※お申込みに際してのご注意 201~203 講座は「一般公開授業」です。大学で実施している授業を学生と一緒に受講します。その性格上、授業の運営が最優先となりますので、ご理解の上でお申込みください。また、授業内で小テスト等が実施されることがありますが、受ける必要はありません。学期末の定期試験は、受講生は受けることはできません。成績・単位等も付与されません。なお、授業編成の都合上、日程が変更となる場合があります。

## 江戸川大学オープンカレッジ 2018 後期「特別公開講座」のご案内

### 301 講座 イノベーション時代の競争政策

～研究開発、特許と独占禁止法～

開催日 10/22(月) 14:00~15:30 回数 全1回 受講料 無料 定員 20名 お申込み締切日 10/15(月)



小田切 宏之

公正取引委員会顧問  
一橋大学名誉教授

企業のイノベーション活動は経済成長の原動力であり、また、特許などの知的財産権はイノベーションへの動機付けを与えます。しかし、それにより過度に独占力が形成されれば消費者の不利益をもたらします。こうした状況を防ぐため、独占禁止法を適用することによって競争を維持することが欠かせません。

この講座では、日本や海外での独占禁止法の具体的応用事例などを紹介しつつ、イノベーションや特許と競争政策との関わりを考えていきます。

※この講座は「公正取引委員会」による無料の講座となります。

(ただし、事前のお申し込みが必要となります)